

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第5回武蔵村山市観光施策検討協議会
開 催 日 時	平成23年2月23日（水）午後2時00分から午後4時00分まで
開 催 場 所	市役所4階402学習室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：溝尾良隆、高橋茂明、高橋敏彦、古屋勤、中西正樹、高橋正美、乙幡章吾、青柳真紀子、小林充子、乙幡弘、宮澤聖和、鳴川和広 欠席者：鳥居武徳、高橋昭、佐保満和、乙幡清次、青柳真紀子 事務局：市民生活部長、地域振興課長、地域振興課産業振興グループ主査、同グループ主任、地域振興課農政グループ主任 委託業者：川本直弘、南澤健次
報 告	第4回観光施策検討協議会の会議録について
議 題	(1) 武蔵村山市における道の駅のあり方について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	(1) 武蔵村山市における道の駅のあり方について 観光施策等に関するアンケートの実施は、調査内容を一部変更し3月に実施する。 (2) その他 次回の協議会は、平成23年3月28日（月）午後2時から行う。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ○ 委員 ● 事務局 ◎ 委託業者	(1) 武蔵村山市における道の駅のあり方について ● 事前に配布した資料1のアンケート内容について検討していただきたい。 ◎ かたくりの湯のアンケートの出口調査は2日間で回収する。 ○ インターネット調査で狭山丘陵を知っているのかの設問を早めに入れたらどうか。 ○ 狭山湖・多摩湖の範囲が不明である。 ○ 1番から始めて最後まで回答しないのではないかと。一番知りたいのはどこか。 ○ かたくりの湯の満足度の設問は温泉施設なのか、販売施設なのか。 ○ かたくりの湯の中に販売施設は無い。 ● 満足度は温泉施設それとも、料金についてなのかで基準は難しい。 ○ アンケートの回答者になにか渡すのか。 ● 現在検討中である。 ○ インターネットのアンケート調査対象者は。 ◎ 調査会社があり、すでに確保している。 ○ リストはあるのか。 ◎ リストはある。 ○ 調査対象地域は。 ◎ 埼玉県及び西武線方面である。 ○ 予期しないメールで回答してくれるのか。調査会社にモニターとして登録しているのか。 ◎ モニターはいるがなるべく一般の方にしたい。 ○ いつごろ調査を実施するのか。 ◎ 3月中に結果を報告したい。 ○ モニターとして登録があるのであれば年齢はわかっているのか。 ◎ 若い人を対象にしたい。 ○ かたくりの湯の実態について、温泉施設と食堂の満足度は別ではな

いのか。

- 設問で、かたくりの湯を目的に来たのか、他の施設に来たついでによったのか、また、近くにこんな施設がほしいということも聞いたらどうか。
- 設問9～18の細かく聞くのは何か目的があるのか。
- ◎ かたくりの湯でアンケートを実施しているからである。
- かたくりの湯でアンケートを実施しているなら今回しなくてもよいのではないか。
- 指定管理者はどのように調査をしているのか。
- ◎ アンケート調査用紙は常時置いてある。
- 今回調査の必要はないのではないか。
- かたくりの湯の調査は何のためにするのか。
- かたくりの湯の調査は市の長期計画にかかわるので実施する必要がある。
- プールについては必要ないのではないか。
- プールの利用については温泉施設利用に含まれており同一料金である。
- 丁寧なアンケートであるが、目的は道の駅のことであるのでそれほど細かくなくても良いのではないか。
- 道の駅を何処に欲しいかストレートに聞いたらどうか。
- 道の駅に来る目的を聞いたらどうか。
- 狭山丘陵に来る人に道の駅を何処に作ればよいか、どのような施設が必要か具体的に答えていただいたらどうか。
- 狭山丘陵に来た人に何を目的に来るのか聞きたい。
- ◎ アンケートはかたくりの湯が狭山丘陵にあることを知っているかということと、道の駅の必要性、道の駅を訪れたことがあるかという3本立てで実施する。
本市内に道の駅を設置することについての設問が無いので変えることは可能である。
- 市民団体に道の駅の設置についてのアンケートをする場合協力することが出来る。
- 本市内に道の駅の設置を検討しているが市民にアンケートをとることは考えられる。
- 道の駅の設置場所についてかたくりの湯の近くが良いのかそれ以外の場所なのかアンケートをとる必要がある。
- 狭山丘陵、かたくりの湯のアンケートは指定管理者で分かれている項目は抜かして他の調査を入れるのか。
- 道の駅の設問項目を見ると、かたくりの湯で、すでにアンケートを実施しているにも関わらず、このアンケートは必要なのか。
- ◎ 道の駅のアンケートは設問を変えて実施する。
- 変更した内容を後日送付してもらいたい。
- 修正したアンケートを正副会長に確認してもらい後日送付する。
- 道の駅の売り上げが多いところはインターチェンジを降りたところとか交通の要所にあるところである。
また、観光センターの役割をしているところもある。
- かたくりの湯は狭山丘陵の中に入っているのか。
- 野山北六道山公園地域であり、通称としての狭山丘陵に含まれているが、狭山丘陵の区域ははっきりしていない。
- 狭山丘陵に来る人はかたくりの湯に来ると捉えたほうがよいのか。
- 商店の方に頑張ってもらいその中で道の駅についても捉えて行きた

い。

- 町そのものを観光と捉えるのか、道の駅だけを捉えるのか。
- 川越市は、町の中の観光と捉えている。
- 資料3はどのようなものか。
- 周辺地域の観光資源を具体的に集めたものである。
- 道の駅を町の観光資源とどう結びつけるのか。
- 道の駅を発信基地として発展していければとよいと考えている。
- 指田日記はよいものだが。
- 指田日記は市で発行しており販売している。
- 市の文化財は、どのくらいあるのか。
- 資料については統計をとっていない。
- 資料の価値や意義を見出していかなければならない。
- 文化財については仕組みを作っているので今後考えていきたい。
- 道の駅を何処に、どの様に作り文化財を今回の計画とどうリンクしていくのか。
- 現状は市として足りないところはあるが23年度に文化財を含めた観光マップ作る。
- 自分のところにある観光資源を客観的に見ていく必要がある。
- だんだん廃れていくものであるので皆で盛り上げていく必要がある。まず、市民に紹介する必要がある。
- 新規住民は市に溶け込める施策を行っているのか。
- 自治会の加入率は35%急激な都市化により若い人は地域の活動に参加していないのが実情である。
- 音楽を通し（獅子舞笛等）を教えている。地域で活躍できるサークル活動を行っている。
- 道の駅についてどういう形態で実施していくのか、市の負担は何処までなのか、経営する人たちで責任を持って行なう必要がある。
- 道の駅の設置場所はあるのか。
- かたくりの湯を核としての観光施策となっているので学校給食センターを予定している。ただ、この一帯は調整区域である。
- 調整区域に建築できるのか。
- 一般的に調整区域には建築できないが特定行政施設として許可を得ている。
- 設置場所としては市の行政の関係もあるのでこしかなない。ただ、市長にはこの検討協議会の結果を報告したい。
- 設置場所の候補地を3箇所ぐらいに絞り指定できればよいが。
- 今、榎地区を区画しているが榎地区には出来ないか。
- 市営住宅跡地は。
- 道の駅で何をするのか。
- 観光の核として観光施策を行っていく。販売品については農産物・市内の産物・姉妹都市の栄村の産物を予定している。
- 設置場所の候補地をいくつか出したらどうか。
- かたくりの湯がこのままでは停滞していくので道の駅を建設し向上を図りたい。

(2) その他

次回会議は平成23年3月28日（月）午後2時から行う。

